

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 30. 5. 17 第 196 回国会第 2 号

5 月 17 日（木）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 高木委員長から、アドバイザー・ボードを設置することとなった旨の報告がありました。

2 原子力問題に関する件

- ・原子力規制委員会の活動状況について、更田原子力規制委員会委員長から説明を聴取しました。
- ・武藤経済産業副大臣、伊藤内閣府副大臣、武部環境大臣政務官、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構理事 伊藤肇君

東京電力ホールディングス株式会社代表執行役副社長 文挾誠一君

（質疑者及び主な質疑内容）

石川昭政君（自民）

- ・原子力規制が適正に行われているかどうか国会審議を通じて国民に明らかにする本特別委員会の役割に対する更田原子力規制委員会委員長（以下「更田委員長」という。）の認識を伺いたい。また、田中前委員長の 5 年間の取組に対する更田委員長の評価を伺いたい。
- ・新規規制基準適合性審査の効率化を図るため、安全目標に関する議論を進めるとともに、規制側と事業者側のリソースをリスク低減に集中投下することが必要と考えるが、更田委員長の見解を伺いたい。
- ・原子力災害に備えた全国各地の実効性ある避難計画策定のための政府の対応を伺いたい。

中野洋昌君（公明）

- ・田中前委員長時代の原子力規制委員会の取組の評価と、今後 5 年で取り組んでいくべき重点事項について、更田委員長に伺いたい。
- ・新規規制基準と同様に、新たな検査制度も国際的に遜色ないレベルとしていく必要があると考えるが、どのような水準を目指しているのか、更田委員長に伺いたい。

逢坂誠二君（立憲）

- ・有効な避難計画が策定されない限り、原発を再稼働すべきでないと考えているが、伊藤内閣府副大臣の見解を伺いたい。
- ・住民対応に当たる市町村が、地域原子力防災協議会の構成員に含まれず、オブザーバーにとどまっているのは適切でないと考えているが、政府の見解を伺いたい。

- ・避難計画が合理的でない場合に原発の運転を停止させることができるとする米国の制度を参考に、我が国にも同様の制度を導入すべきと考えるが、武藤経済産業副大臣及び内閣府の見解を伺いたい。

小熊慎司君（国民）

- ・東京電力福島第一原発事故は人災であったとの認識か、更田委員長に伺いたい。
- ・東京電力福島第一原発事故で、福島県の浪江町民が集団で慰謝料増額を求めて申し立てた和解仲介手続きが、東京電力の和解案拒否により打ち切られたことについて、武藤経済産業副大臣の認識を伺いたい。
- ・中間貯蔵施設建設の入札において談合はなかったのか、武部環境大臣政務官に伺いたい。

斉木武志君（国民）

- ・高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）視察の日程調整の進捗状況について、更田委員長に伺いたい。併せて、地元から意見交換の要望があるか、どういった観点で視察を行う考えかも伺いたい。
- ・もんじゅの廃止措置に係る炉心からの燃料の取り出しについて、安全に行うことができると考えているのか、日本原子力研究開発機構に伺いたい。

田嶋要君（無会）

- ・原子力規制庁と電力会社の面談や審査会合等のすべての会合の議事録を情報公開すべきと考えるが、更田委員長の見解を伺いたい。

- ・ノーリターンルールは例外なく適用されなければならない。そのため、原子力規制庁で勤務した職員全員について調査を行うべきと考えるが、更田委員長の見解を伺いたい。

藤野保史君（共産）

- ・東京電力柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の設置変更許可取得後に、同社が許可審査段階で触れていなかった液状化による地盤への影響の可能性に言及したことは、地盤強度の審査を行った当該段階での申請内容が間違っていたことになると思うが、文挾東京電力副社長の見解を伺いたい。
- ・地盤ガイドに基づく地盤強度の審査は、工事計画認可の審査段階ではなく設置変更許可段階で行うこととされていることから、東京電力が許可後に強度不足について言及したことは許可の前提を欠いていることになると思うが、更田委員長の見解を伺いたい。

杉本和巳君（維新）

- ・地殻・地層・岩盤などの新しさと脆弱性の観点から、我が国は原子力発電に向いていると考えているか、更田委員長の認識を伺いたい。
- ・稼働していない原発における使用済核燃料の保管の現状や安全性及び危険性について、原子力規制庁に伺いたい。